

SDGs おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日> 2024年 11月 14日

事業者情報					
事業者名	金子コード株式会社				
代表者 職・氏名	職名	代表取締役社長			
	氏名	金子智樹			
ホームページ URL (任意)	<a href="https://www.kaneko-cord.com/">https://www.kaneko-cord.com/</a>				
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての2030年のあるべき姿					
<p>1932年の電線事業開始から、医療用カテーテルチューブ、食品と、その時代の問題とともに歩んできました。現代では水不足や異常気象等災害の問題が深刻化しており、その問題に向き合い解決のための力になることが私たちの役目だと思っております。現在開発中の大気水製造装置を普及させ、水のない地域、電気の通っていない地域、災害の避難所などどんな場所でも水に困らない社会が実現する力となる姿が2030年のあるべき姿です。</p>					
<p>これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可）          （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）</p>					
 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を実現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に
		○			○
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任つかう責任
○	●	○	○	○	○
 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナースHIPで目標を達成しよう	
○	○	○	○	○	

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴールの数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
3、6、7、8、9、10、11、13、16、17	空気中の湿度を集めて水を製造する装置を開発中。各社から既出の装置よりも、低電力で稼働。また低湿度な環境でも製造できるようオープンイノベーションにより多方面の知識を結集させて取り組んでいる。	モデル機の製造と改造を進め、実機の完成と販売をおこなう。地方自治体や民間企業、地域住民と協力して災害に強いまちづくりを進める。また、水道が通っておらず遠くまで水を汲みに行っているような地域にも設置することで安全な水をいつでも使用できる世の中を実現していく。
3、6、8、10、11、16、17	リンや泥などで汚染された水に特殊な粉を入れ、取りたい成分を吸着させ浄化することで、安全に水を使用することができるよう実証実験をおこなっている。	より手軽に入手できるもので水の浄化が簡単にできないか、調査・実験を進めていく。池のような大規模な水も浄化できるよう、規模に合わせたシステムも考案していく。
12、14、15	山間部において陸上養殖でチョウザメを育て、キャビアを製造している。キャビアだけでなくチョウザメの身肉や骨も活用し余すことなく使用するよう心がけている。	海外ではチョウザメの身肉を食べることは浸透しているが、日本ではあまり日常化していない。健康にも良い成分が多いため、日本国内でも手軽に食べられるよう、食べやすい商品の開発をして広めていく。
3	アメリカで使用されていた医療用カテーテルチューブを、日本人の体格に合うように開発、製造した。	現在日本と中国に生産拠点があるがその2国だけでなく、日本人と体格の近いアジア圏を中心に展開していくことで助かる命を増やしていく。
9	祖業の電線、電話線の製造技術を応用して医療用カテーテルチューブを開発した。	医療現場や協力会社と協力し、更に難しい技術を必要とする製品の製造をおこなう。